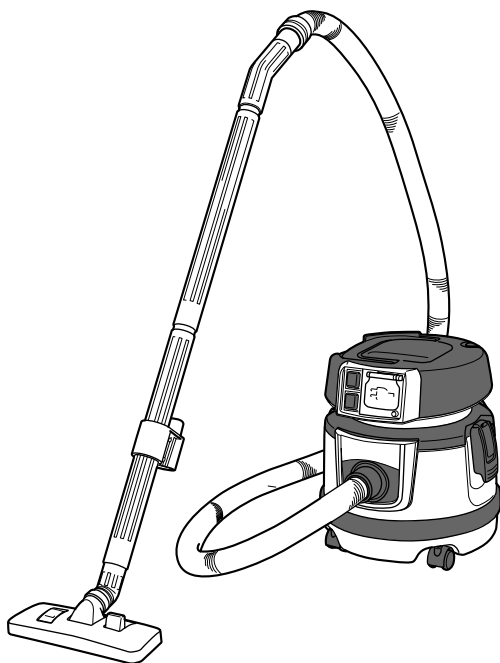


RYOBI

集じん機

VC-100

取扱説明書



もくじ

■安全上のご注意	1～6
■各部の名称・仕様	7
■付属品	8
■用途・別販売品	9
■ご使用前の準備	10～11
■使い方	12～33
■別販売品について	34
■収納方法	35
■保守と点検	36

乾湿両用

このたびは、リョービ 集じん機をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

警告

6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

警告

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 常識を働かせてください。
 - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。
21. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・ 可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

警告

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

集じん機ご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、集じん機をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 必ずアース（接地）してください。
 - ・ アースしていないと感電の原因になります。
2. アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 爆発の恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
4. 雨中、ぬれた場所、湿気の多い場所で使用しないでください。
 - ・ 感電の原因になります。
 - ・ 乾湿両用タイプでも防水構造ではありません。
モーターがぬれるような使い方をすると、モーターの絶縁低下、感電事故、錆発生の原因になります。
5. 連動コンセントに接続できる電動工具の消費電力は、強運転時 100 ～ 280W、弱運転時 100 ～ 780W までです。
 - ・ 上記を超える消費電力の電動工具を連動コンセントに接続して使用すると、定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。

警告

6. 定格 15A 以上の電源コンセントを単独で使用してください。
 - ・他の器具と併用すると、異常発熱による火災の原因になります。
7. 以下のものは吸込まないでください。
 - ・金属の研削、切断作業時に発生する火花。
 - ・火のついた、たばこの吸い殻など高温のもの。
 - ・引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）
 - ・釘、カミソリの刃など鋭利なもの。
 - ・油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体。
火災やけがの原因になります。
8. 使用中は、吸込口周辺や回転部に人や動物の手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがや思わぬ事故の原因になります。
9. 集じん機が使用中に転倒したときは、ただちに電源スイッチを切り、機体を立て直してください。
10. 湿式での使用時に吸込んだ水の量がタンクの規定量を超えると、中のフロートが作動して吸込まなくなります。
 - ・ただちにスイッチを切って、タンク内の水を排出してください。
なお、フロートが作動した状態で吸込みが停止しても、モーターは回転したままの状態です。
11. 機体の吸込口、吸気口、排気口をふさいだ状態で使用しないでください。
 - ・モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター焼損などの故障の原因になります。
12. ご使用前には、必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないでください。
13. 誤って落としたり、ぶつけたときは、付属部品（ノズルなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
14. 使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、ただちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用すると、けがの原因になります。
15. 停電などのときは必ず本機および接続している電動工具のスイッチを切ってください。
 - ・停電、プラグの外れ、ブレーカーが切れるなどにより、モーターが停止したときは、必ずスイッチを切ってください。
電源が回復したときに急に始動し、けがの原因になります。

警告

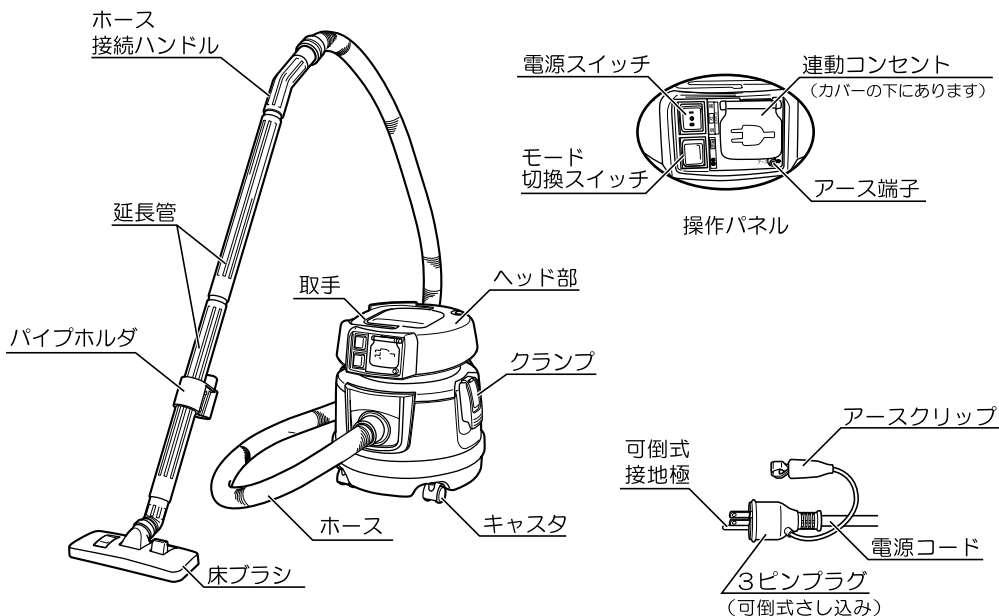
16. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
17. この機体は屋内用です。決して屋外で使用しないでください。
 - ・絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

注意

1. 湿式で使用された後は、タンク内、フィルタを十分乾かしてから乾式集じんを行なってください。
 - ・濡れた状態のまま乾式集じんを行ないますと、フィルタ表面に粉じんが貼付き、目詰まりの原因になります。
2. 乾式使用時に、カートリッジフィルタなしで粉じんを吸込むと、吸込んだ粉じんが飛散することになります。
必ずカートリッジフィルタを装着して吸じん作業を行なってください。
3. タンク内に溜まったものは、運転終了後排出してください。
 - ・そのまま放置しますと、悪臭やカビ、錆発生の原因になります。
4. 本体の上に乗ったり、座ったりしないでください。
 - ・本機が破損したり、急に動き出し、転倒するなどけがの原因になります。

各部の名称・仕様

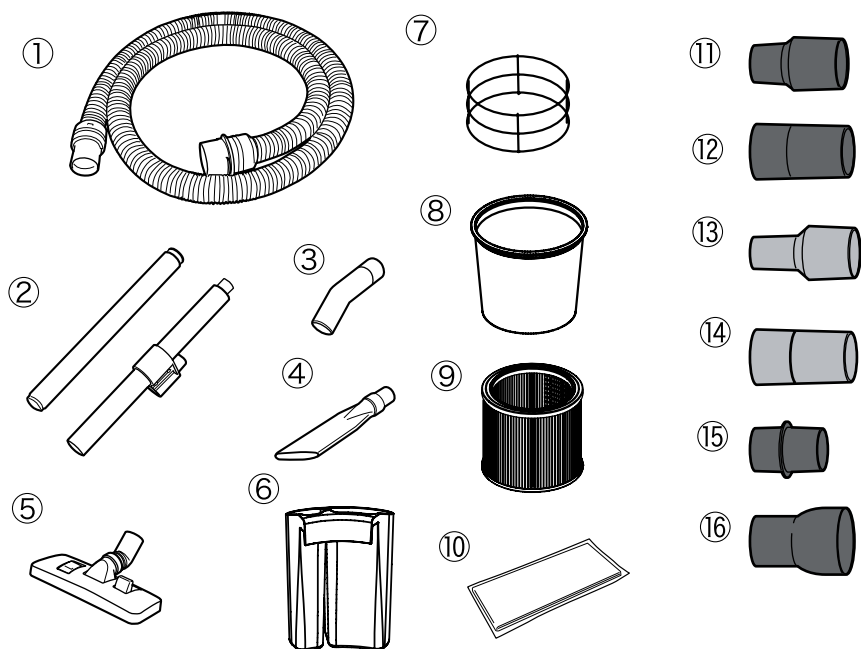
●各部の名称



●仕様

パワーモード	強	弱
電源	単相・交流 100V 50/60Hz	
タイプ	乾湿両用	
定格電流	12A	8.1A
消費電力	1,150W	650W
連動コンセント (接続できる電動工具の消費電力)	100 ~ 280W	100 ~ 780W
最大風量	3.0m ³ /min	2.4m ³ /min
最大真空度	25.3kPa	16.1kPa
集じん容量	(乾燥) 9.5ℓ (液体) 5.8ℓ	
コード長さ	4.8m	
機体寸法 (長さ×幅×高さ)	350 × 350 × 390mm	
質量	7.3kg	
絶縁方式	シングル絶縁	
吸込仕事率	280W	140W

付属品



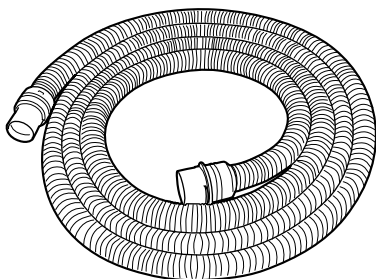
No.	名称	数量	No.	名称	数量
①	ホース 内径38mm×長さ2.5m 接続径(内径)42mm	1	⑪	アダプタ R1(自社電動工具との接続) 工具側(内径)26mm×ホース側(外径)40mm (外径)29mm	1
②	延長管(パイプホルダ付)	2	⑫	アダプタ R2(自社電動工具との接続) 工具側(内径)38.7mm×ホース側(外径)40mm	1
③	ホース接続ハンドル	1	⑬	アダプタ M1(マキタ電動工具との接続用) 工具側(外径)25mm×ホース側(外径)40mm	1
④	スキマノズル	1			
⑤	床ブラシ(乾湿両用)	1	⑭	アダプタ M2(マキタ電動工具との接続用) 工具側(内径)38mm×ホース側(外径)40mm	1
⑥	収納ボックス	1			
⑦	フィルタケース(タンク収納)	1	⑮	アダプタ H1(日立電動工具との接続用) 工具側(外径)33mm×ホース側(外径)33mm	1
⑧	フィルタ(タンク収納)	1			
⑨	カートリッジフィルタ(本体取付)	1			
⑩	ポリ袋 10枚入 (幅640mm×深さ600mm×厚さ0.04mm)	1	⑯	アダプタ H2(日立電動工具との接続用) 工具側(内径)33mm×ホース側(内径)43mm	1

用途・別販売品

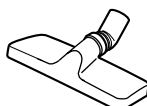
●用途

- ・ 建築現場、工作機械の清掃
- ・ 車内の清掃
- ・ 電動工具でのコンクリートや木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん。
- ・ 床にこぼした水などの液体吸引

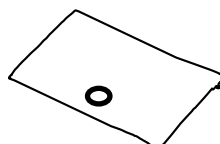
●別販売品



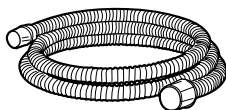
ホース 長さ 5m
ホース径 (内径) 38mm
接続径 (内径) 42mm



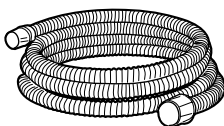
床ブラシ (湿式用)



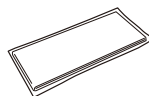
粉じん用フィルタ



集じんホース 2.5m
ホース径 (内径) 21mm
接続径 工具側 (外径) 30mm
ホース側 (外径) 38mm



集じんホース 5m
ホース径 (内径) 21mm
接続径 工具側 (外径) 30mm
ホース側 (外径) 38mm



ポリ袋 (10 枚入)
幅 640mm
深さ 600mm
厚さ 0.04mm

ご使用前の準備

●漏電しゃ断機について

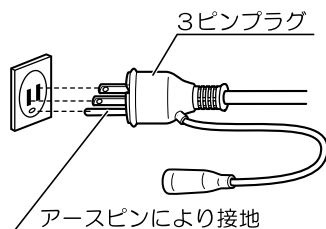
- ・ご使用前に、本機が接続される電源に感電防止用漏電しゃ断装置（漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。定格感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の市販品の漏電しゃ断器をご使用ください。（労働安全衛生規則第 333 条、第 334 条、電気設備の技術基準第 18 条、第 28 条、第 41 条）

●アース（接地）について

- ・感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地（アース）してください。

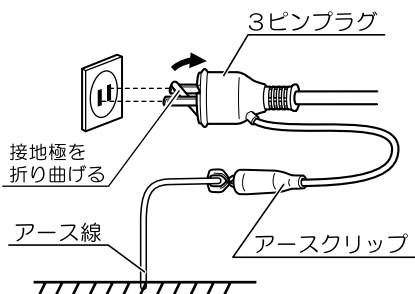
（アース付（3 ピン）電源コンセントの場合）

- ・3 ピンプラグ（可倒式さし込み）をそのままさし込んでください。



（2 極電源コンセントの場合）

- ・接地極のない電源コンセントに接続するときは、右図のように接地極を折り曲げて電源コンセントにさし込み、アースクリップをアース線に接続してください。
- ・アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと機体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
- ・アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続するなどの電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。



ご使用前の準備

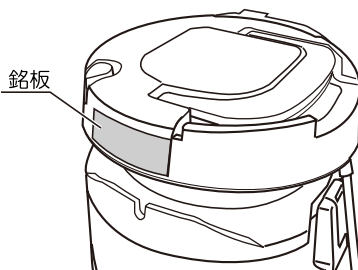
●ご使用前の点検

⚠ 警 告

- ・ ご使用前に次のことを確認してください。
1～3項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

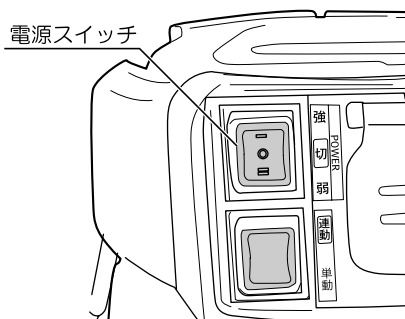
1. 使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。



2. 電源スイッチが切れていることを確かめる

電源スイッチが入っているのを知らずに電源プラグを電源コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。電源スイッチは、『強』または『弱』側を押すと入り、『切』に戻すと切れます。電源スイッチが『切』になっていることを必ず確認してください。

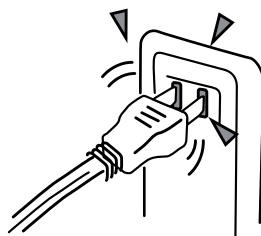


3. フィルタの確認

フィルタは13ページの「●フィルタの取付け」の項を参照のうえ、正しく取付けてください。

4. 電源コンセントの確認

電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタついたり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。



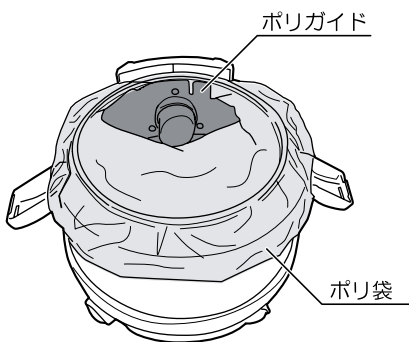
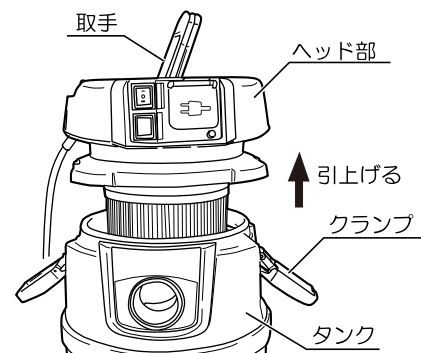
使い方

⚠ 警告

- 各部の組立て、部品交換の際には、スイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

●ポリ袋の取付け(ポリ袋なしでも使用可能)

1. タンクとヘッド部を固定している2カ所のクランプをはずして、取手を持ってヘッド部を引上げ、取外します。
2. ポリ袋をタンク内で広げ、その一端をポリガイドとタンクの間にしき込み、タンクの口元まで引っ張ってください。ポリ袋をタンクの口元に沿って広げてください。
3. 13 ページ『●フィルタの取付け』の項に従い、フィルタパッキン部がポリ袋をしっかりとさみ込むようにフィルタを取付けます。

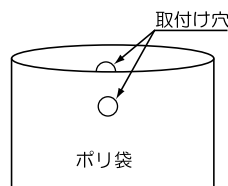


(注)

- ・ 粉じん、液体の溜まったポリ袋をタンクより取出すときは、タンク内の突起部に引っ掛けないように取出してください。
- ・ 粉じん、液体を溜めすぎると重くなり、ポリ袋が破れる恐れがありますので粉じん、液体はこまめに捨ててください。

(別販売品のポリ袋を使用する場合)

- ・ 別販売品のポリ袋には取付け穴があります。(他モデルで使用) タンクに取付けるときは、取付け穴がタンクの外側に出るように取付けてください。(34 ページ参照)



(市販のポリ袋を使用する場合)

- ・ 市販のポリ袋は、45 ℓが使用可能です。ただし厚さ 0.04mm 以上のものを使用してください。ポリ袋の取付けは、付属品のポリ袋と同じ要領で取付けてください。

使い方

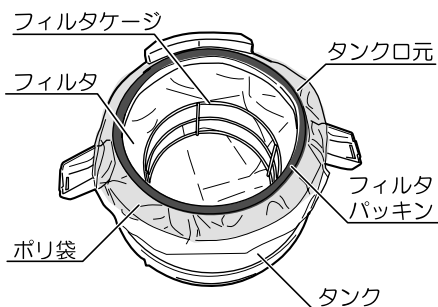
●フィルタの取付け

⚠ 注意

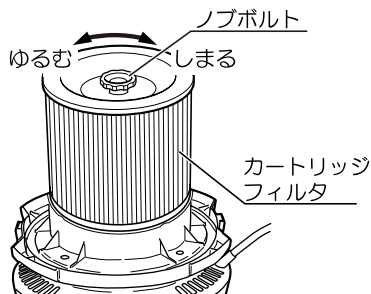
- ・フィルタは必ず取付けてご使用ください。乾湿両用フィルタですので、吸水時にも取外さないでください。モーター損傷の原因になります。
- ・フィルタは消耗品です。フィルタが古くなったり、破れた場合は新品と交換してください。

(乾式使用の場合)

1. タンク内にフィルタを入れ、フィルタパッキンがタンクロ元にかかっていることを確認してください。
2. タンク内にフィルタケースを入れてください。

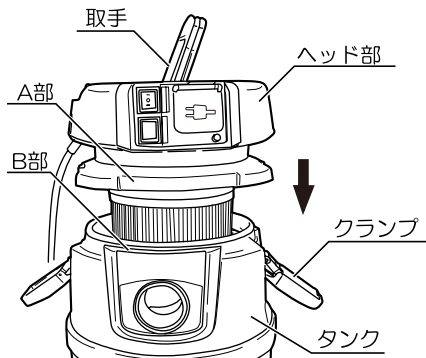


3. カートリッジフィルタがヘッド部にさし込まれていることを確認してください。
4. ノブボルトを右に回して、締まっていることを確認してください。



5. ヘッド部をタンクに戻し、クランプで固定してください。

(注) ヘッド部の凹部 (A 部) とタンクの B 部を合わせて取付けてください。

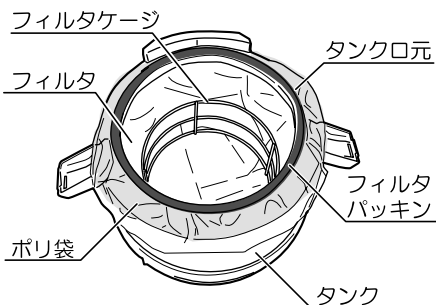


(湿式使用の場合)

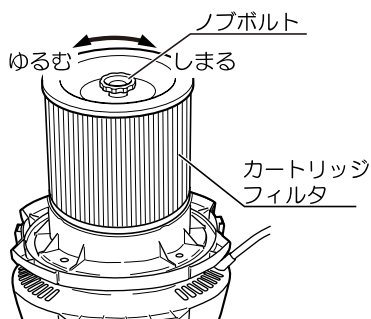
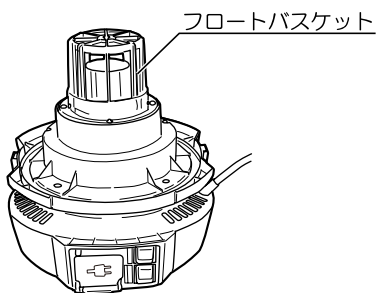
1. タンク内にフィルタを入れ、フィルタパッキンがタンクロ元にかかっていることを確認してください。

2. タンク内にフィルタケースを入れてください。

(注) 乾式で使用するときは、タンク内、フィルタを乾かしてから使用してください。

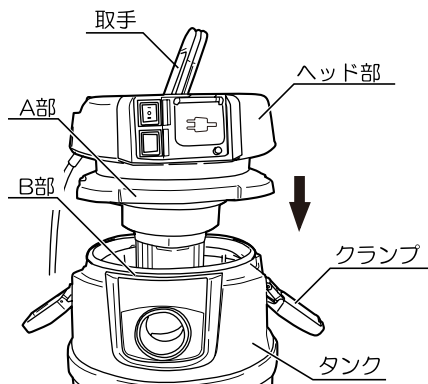


3. カートリッジフィルタをフロートバスケットより取外してください。ノブボルトを左に回してゆるめると取外せれます。



4. ヘッド部をタンクに戻し、クランプで固定してください。

(注) ヘッド部の凹部 (A部) とタンクのB部を合わせて取付けてください。



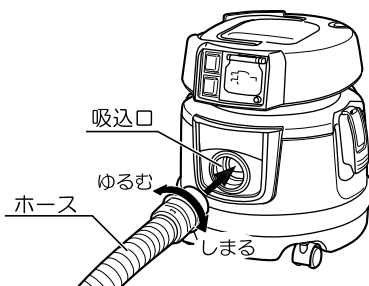
使い方

●ホースの取付け

⚠ 注意

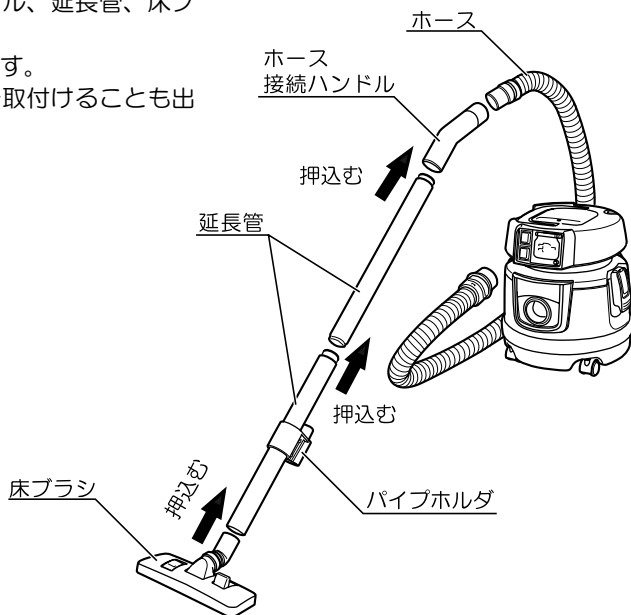
- ・ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本機を移動させたりしないでください。ホースの変形や破損などの原因になります。

- ・タンクの吸込口にホースを挿入し、ホースのリングを右方向に止まるまで回して固定します。



●延長管、床ブラシの取付け（掃除機として使用する場合）

- ・ホースにホース接続ハンドル、延長管、床ブラシの順に接続します。接続は矢印方向に押し込みます。用途によりスキマノズルを取付けることも出来ます。



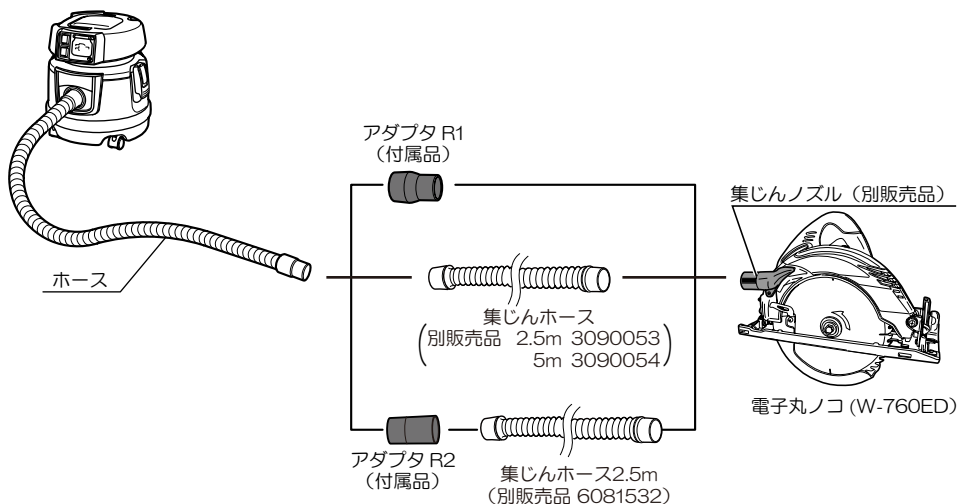
●電動工具を接続して使用する場合

⚠ 警告

- ・下記の消費電力を超える電動工具は、連動コンセントに接続しないでください。定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。下記の消費電力を超える電動工具は、この機体の電源プラグを接続している電源コンセントとは別のコンセントに接続してください。
この機体を強運転する場合・・・電動工具の消費電力 100～280W まで
この機体を弱運転する場合・・・電動工具の消費電力 100～780W まで
- ・グラインダ、切断機などでの金属切断、研削作業など火花が発生する作業には接続しないでください。火災の原因になります。

- ・電動工具と接続して使用する場合は、17～23ページの接続方法を参照して接続してください。

(接続例)

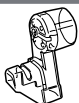
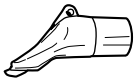
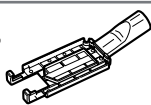

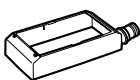
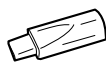

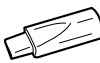

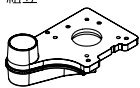


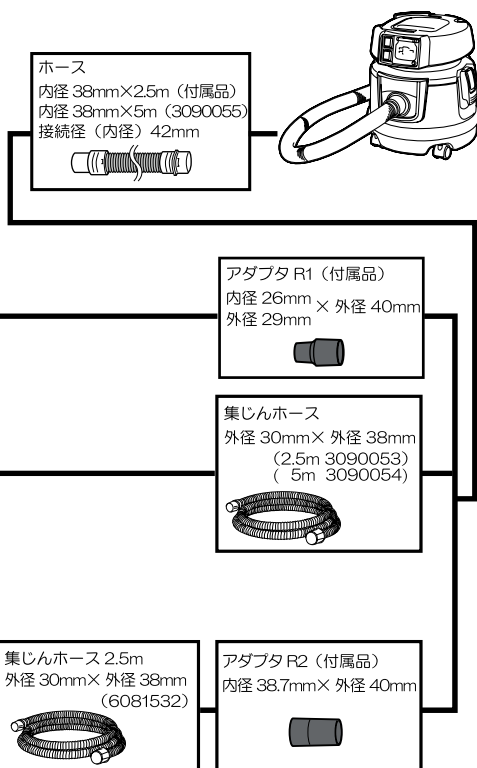
使い方

自社製電動工具と接続する場合

適用電動工具 別販売品
集じんアダプタ (コード No.)

接続方法

丸ノコ MW-145 MW-46 W-145D W-146D*	ノズルセット (6075401) 
丸ノコ W-565D W-655D W-567D W-657D 電子丸ノコ W-570ED* W-660ED* W-571ED W-661ED W-760ED	集じんノズル (6076175) 
シグソー J-650VDL J-6500V J-6500VDL	定盤カバー (6075987) 
高速サンダ S-801M S-801S	集じんカバー (6360572) 
高速サンダ SU-6300A	集じんカバー (6075551) 
集じんサンダ NS-350M	集じんノズル (6075287) 
ミニサンダ S-550M	集じんカバー (6360501) 
ミニサンダ S-555M S-5000	集じんノズル (6075287) 
卓上糸ノコ盤 TFE-450	ノズルアタッチメント (付属品) (1360133) 
トリマ TRE-40 TRE-55 MTR-40 TR-51 MTR-41 (付属品)	集じんプレート組立 (6082609) 


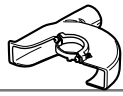



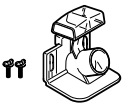



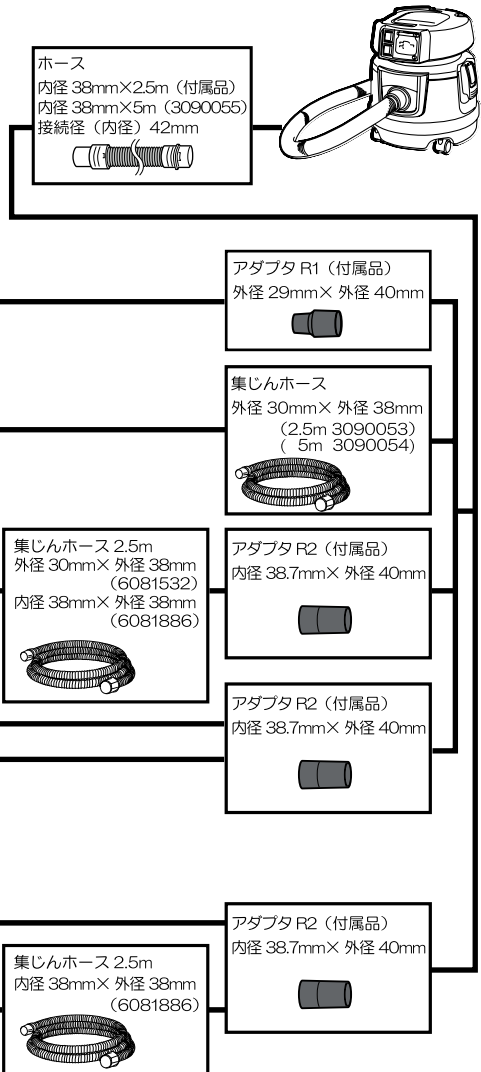
※生産中止モデル

自社製電動工具と接続する場合

適用電動工具 別販売品 集じんアダプタ (コード No.)

接続方法

ベルトジスクサンダ BDS-1000	ダストノズル (付属品) (6360851) 
ジスクグラインダ 100mm 掲載全機種	集じんカバー (6075631) (ダイヤモンドブレード使用時) 
ジスクグラインダ GL-125V G-121A* G-1200 G-122P	集じんカバー (6075101) (ダイヤモンドブレード使用時) 
卓上バンドソー TBS-80	集じんアダプタ (付属品) (6360874) 
卓上切断機 TS-220	不要
カンナ ML-82S	ダストノズル (6075641) 
カンナ ML-83S	不要
小型手押カンナ HL-6A	不要
トリマ TRE-40 TRE-55 MTR-40 TR-51 MTR-41	シューベース (6074941) 
コンクリートカッタ C-104PHS*	ダストノズル (6076201) 



※生産中止モデル


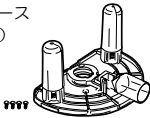
使い方

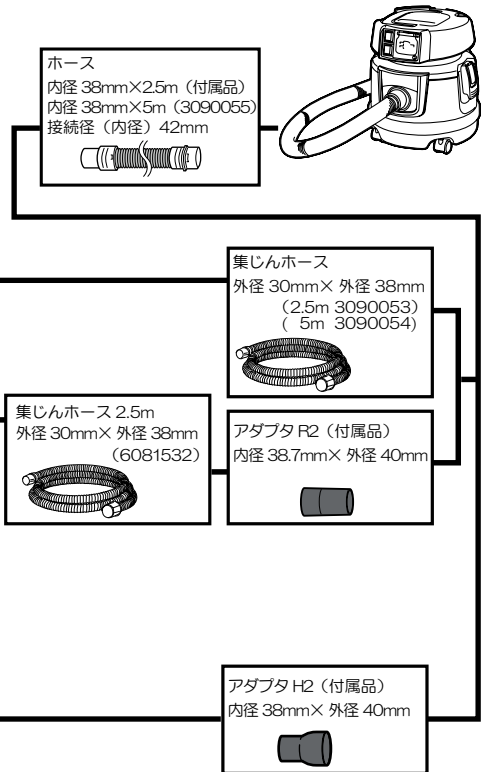
自社製電動工具と接続する場合


別販売品

適用電動工具 集じんアダプタ (コード No.)

接続方法

ジグソー MJ-50 MJ-300* MJ-300V* CJ-250	集じんノズル (6075287)	
サンダ MS-30 MS-350*		
サンダポリシャ RSE-1250 RSE-125*	不要	
キワ切りカッタ KW-300D	不要	
トリマ MTR-40 MTR-41 TR-51	ルーターベース (6074931)	



卓上系ノコ盤 TF-5400	TF-5400 集じん口形状	外径 38mm 34mm 32mm	
-------------------	-------------------	----------------------------	---

※生産中止モデル

マキタ製電動工具と接続する場合

適用電動工具


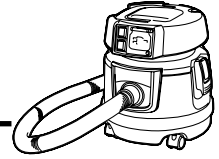
マキタ製別売
集じんアダプタ

接続方法


防じん丸ノコ 5023KB 5034FKB 5044KB 5055KB 5055FKB 5035KB 5045KB 5047KB	不要
充電式防じん丸ノコ 5036DRA 5036DA	
防じんカッタ 4123KB	
集じんカバー付ディスクサンダ 9526BSK	
ホイールサンダ 9740 9741SP1	
スライド丸ノコ LS0712 LS0713 LS0713FL LS0811 LS0812 LS0813F LS0813FL LS1014 LS1015 LS1213	
卓上丸ノコ LS1040F LS0840F LS0840FL LS1510	

防じん丸ノコ 5205FX	不要
内装丸ノコ 5240L	
内装直角丸ノコ 5210L	

ホース
内径 38mm×2.5m (付属品)
内径 38mm×5m (3090055)
接続径 (内径) 42mm

アダプタ M2 (付属品)
内径 38mm× 内径 40mm



アダプタ M1 (付属品)
外径 25mm× 内径 40mm



使い方

日立製電動工具と接続する場合

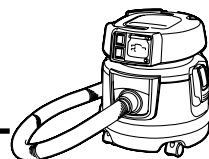
適用電動工具

日立製別売
集じんアダプタ

接続方法

集塵丸ノコ C 3Y C 4YB C 4YC C 5YA C 5YB C 5YB2 C 5YC C 6Y1 C 8Y	不要
C 4YA1 C 4YA2	要
リフォーム用丸ノコ、丸ノコ C 5MR C 5MB C 5UB	要
深切り丸ノコ、丸ノコ C 5MBY C 5UBY C 6MBY C 6UBY C 5MVY C 5UVY C 6MUY C 6UVY C 6MB4 C 6UB4 C 7MB4 C 7UB4 C 6MV3 C 6UV3 C 7MV3 C 7UV3	要
コードレス丸ノコ C 14DSL C 18DMR	要
シグソー CJ 65VC CJ 65TC CJ 65SC CJ 70V CJ 55 CJ 55VA CJ 65VE	要
CJ 65SF CJ65VF	不要
CJ 120 CJ 120V CJ 110M CJ 110MV CJ 14DSL	要
サンダ SV 12SD SV13Y	要
ミニサンダ、ベルトサンダ SV 12SG SV 12SH SV 13YB SB 8V2 SB10V2 SB 8TB/11	不要
コードレスチップソーカッタ CD 12D CD 14DSL	不要
小穴カッタ PG 21BA	要

ホース
 内径 38mm×2.5m (付属品)
 内径 38mm×5m (3090055)
 接続径 (内径) 42mm



アダプタH2 (付属品)
 内径 33mm× 内径 43mm

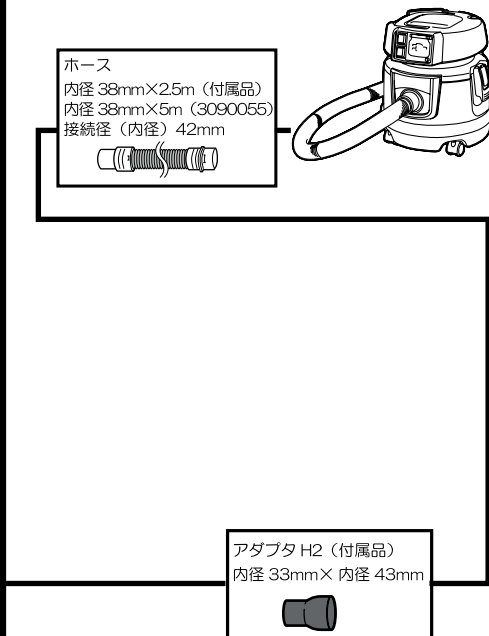


日立製電動工具と接続する場合

適用電動工具
日立製別売
集じんアダプタ

接続方法

カッタ CM 4YA CM 5YA CM 4Y2	要
CM 6 CM 11 CM 12Y	不要
ディスクサンダ S 10SA3 S 10SA2 ダイヤモンドカッター(加形)使用 S 10YA	要
100mm・125mm ^φ イスタグ [®] ラインダ (ダイヤモンド [®] カッター使用時) PDA-100H PDH-100H G 10SB1 G 10YH G 10YH2 G 10VH G 10SH4 G 10SL4 G 10SH3 G 10SL3 G 10YA1 G 10SP4 G 10SM3 G 10SP3 G 10SM2 G 10MH G 10ML G 10B2 G 10SG G 14DSL G 13SP G 13S4 G 13SH4 G 13SM3 G 13SM2 G 13SH3 G 13YE G 13VH G 13YH2	要
ルータ M8 M 8SA2 M 8V2 M12 M 12BA M 12SA M 12V2	要
カナ P20	要
振動ドリル V 19 DV 21V VTP 25	要
ハンマドリル PR 25B PR 38E DH 35 DH 40SA DH 40SR DH 40MRY DH 40MR DH 40MB	要
ロータリハンマドリル DH 25PB	要



使い方

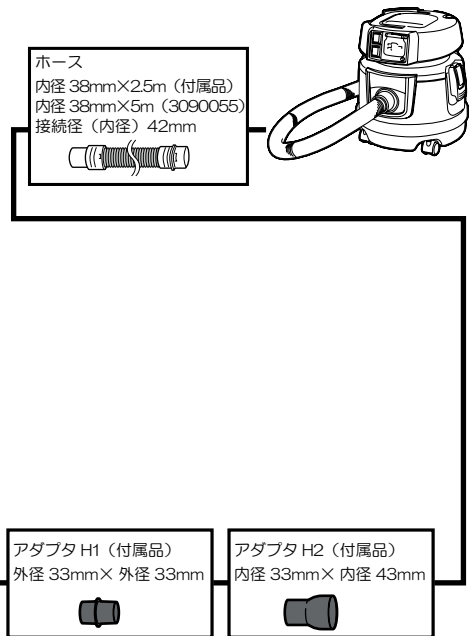
日立製電動工具と接続する場合

適用電動工具

日立製別売
集じんアダプタ

接続方法

卓上丸ノコ・ベンチ丸ノコ テーブル丸ノコ C 6RSH C 6RSB C 7RSHC C 7RSC C 7RSH C 7RSB C 7FSB2 C 7FSH2 C 7FSB C 7FSH C 8FB2 C 8FSB C 8FSH C 8FC C 10FSH C 12LDH C 12LCH C 12FSA C 15FB C 10FD3 C 12RSH C 12FS C 15FC C 10FE	要
125mm・150mm・180mm ディスクグラインダ (ダイヤモンドカッター使用時) G 13SP G 13S4 G 13SM3 G 13SH4 G 13SM2 G 13SH3 G 13YE G 13VH G 13YH2 G 15SP G 15YE G 18SH G 18YB PDH-180C G 18SP	要
ロータリハンマドリル・振動ドリル DH 18PB DH 18MB DH 18M DH 18VB DH 15DV DH 20DVA DH 24DV DH 24DVA DH 25DAL DH 36DAL DH 22PB DH 24PB3 DH 24PC3 DH 24PF3 DH 24PM DH 14DSL DV 18VA DV 20VE DV 20VB2 DV 10V DV 12V DV 16V DV 20VB DH 24PD3 DH 24PD2	要



●連動コンセントの使い方

⚠ 警告

- ・ 連動コンセントは、本機の電源スイッチ、モード切換スイッチの位置にかかわらず、電源プラグを電源コンセントにさし込んだ時点で通電します。電動工具の電源プラグを連動コンセントにさし込むときは、電動工具のスイッチが切れていることを確認してください。

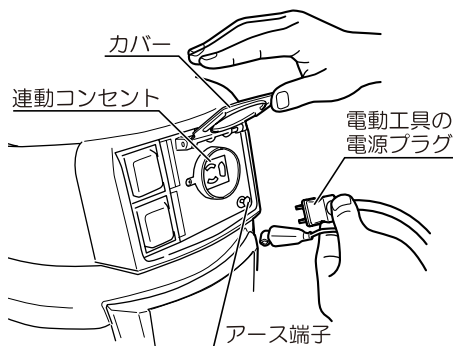
電動工具のスイッチを入れたまま接続すると、急に始動して事故の原因になります。

- ・ シングル絶縁構造の電動工具を接続する場合は、アースクリップを必ずアース端子に接続してください。（アースクリップ付2ピンプラグの場合）アースクリップをアース端子に接続しないと感電の恐れがあります。

- ・ 本機は強運転時 100～280W、弱運転時 100～780W までの消費電力の電動工具が接続できます。

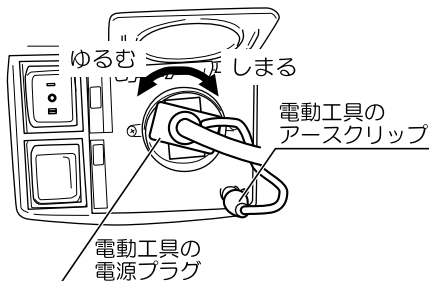
●電動工具の電源プラグの接続

- ・ カバーを持上げて、電動工具の電源プラグを連動コンセントにさし込み、右に回します。回らなくなったところで、電源プラグの抜止めがかかります。電源プラグを抜く場合は、左に回してから引き抜きます。



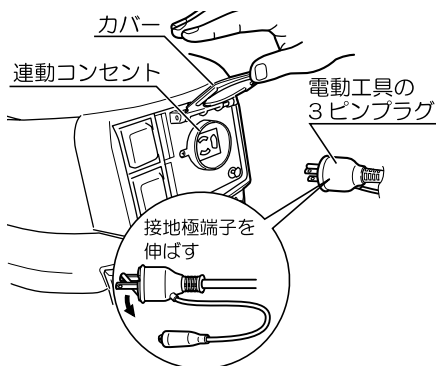
●アースクリップの接続

- ・ 電動工具がシングル絶縁のアースクリップ付2ピンプラグの場合は、電動工具のアースクリップを必ずアース端子に接続してください。



使い方

- ・ 3ピンプラグ（可倒式さし込み）の場合は、接地極端子を伸ばしてから連動コンセントにさし込み、右に回します。



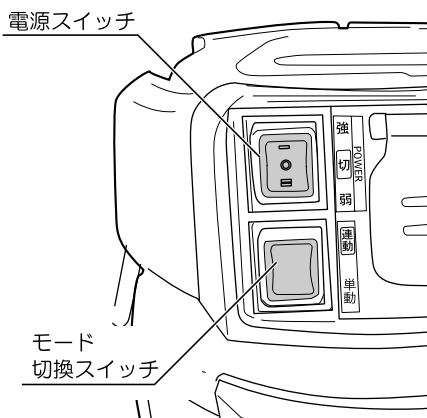
●スイッチの操作

●電源スイッチ

- ・ 『強』側を押すと機体が強運転、『弱』側を押すと弱運転が可能になります。『切』に戻すと機体が停止します。モード切換スイッチが『単動』の場合、電源スイッチの操作で運転・停止します。

●モード切換スイッチ

- ・ 『連動』側を押すと接続した電動工具のスイッチの操作で本機集じん機も連動して運転、停止します。
『単動』側を押すと本機集じん機の電源スイッチで運転・停止が可能になります。



●各スイッチの操作手順

（電動工具と本機を連動させて使用する場合）

- ①モード切換スイッチの『連動』側を押します。
- ②電源スイッチの『強』または『弱』側を押します。
- ③接続した電動工具のスイッチの操作で本機集じん機も連動して運転、停止します。
なお、ホース内の粉じんを吸込むため、電動工具のスイッチを切った後も、機体は数秒間運転し、停止します。

（掃除機として使用する場合）

- ①モード切換スイッチの『単動』側を押します。
- ②電源スイッチの『強』または『弱』側を押すと、機体が運転します。停止させるときは、『切』側に戻します。

(スイッチと本機、接続工具の稼働状況一覧表)

電源スイッチ	モード切換スイッチ	接続工具スイッチ	本機	接続工具
強／弱	連動	ON	稼働(連動)	稼働
強／弱	単動	ON	稼働(単動)	稼働
強／弱	連動	OFF	停止	停止
強／弱	単動	OFF	稼働	停止
切	-	ON	停止	稼働
切	-	OFF	停止	停止

● 運転

警 告

- ・電源コンセントに電源プラグをさし込む前に、集じん機および電動工具のスイッチが切れていることを必ず確認してください。スイッチが入ったまま電源プラグを電源コンセントに接続すると、急に動き出し事故の原因になります。
- ・電動工具がシングル絶縁の場合は、アースを必ず接続してください。感電事故の原因になります。
- ・湿式での使用の場合は、安全のため、ゴム製の手袋やゴム底の長靴を着用して、感電事故のないよう注意してください。
- ・湿式での使用では、吸込んだ液体を排出する時に(安全のため)、必ず事前に集じん機の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・湿式での運転中、集じん機が転倒した場合は、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・湿式での使用では、吸込んだ液体が規定量に達すると、内部のフロートが働いて吸込みを停止します。
このとき、吸込みは停止してもモーターは回転を続けていますので、速やかに電源スイッチを切りモーターの回転を止めてください。

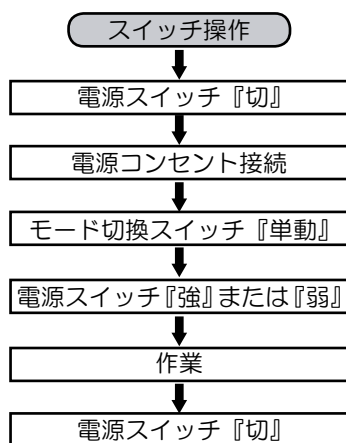
注 意

- ・乾式で使用する場合は、ご使用前にカートリッジフィルタが確実に取付けられていることを確認してください。確実に取付けられていないと粉じんが飛散する場合があります。
- ・湿式での使用中に、本体の移動や傾きにより、ホース取付口などから吸込んだ液がこぼれたり、スイッチ『切』時にホースや延長管などに残った液が垂れて、周囲を汚すことがあります。本体の置き場所やスイッチ『切』時には十分注意してください。

使い方

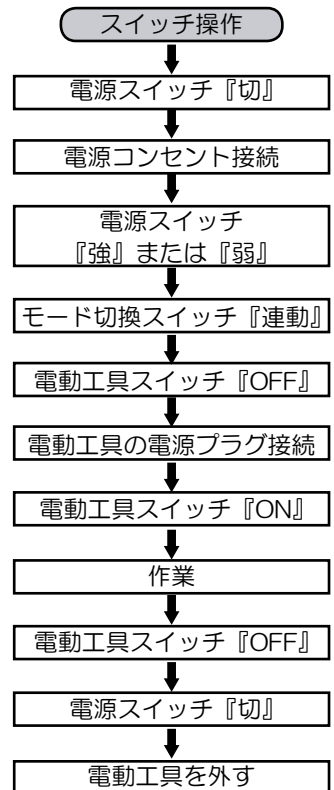
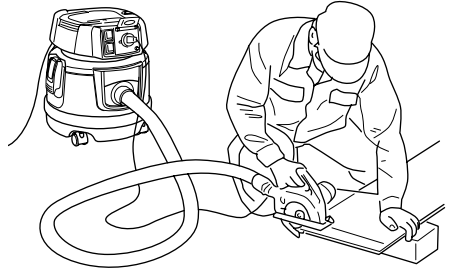
●乾式・単独運転<集じん機のための運転>

- ・集じん機にフィルタ、フィルタケース、カートリッジフィルタを取付けて準備してください。
(注) ポリ袋を使用する場合は、12 ページを参照ください。
- ・ホース、延長管、床ブラシを接続した後に、集じん機の電源スイッチが『切』になっていることを確認してください。
- ・電源プラグから出ているアースクリップを接地し、電源プラグを電源コンセントに接続してください。
- ・モード切換スイッチを『単動』にした後、電源スイッチを『強』または『弱』にすると集じん機が運転を開始します。床ブラシなどを使って集じん作業を行なってください。
- ・一通りの作業を終えたら、電源スイッチを『切』にし、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ・電源コードは、邪魔にならないように本体に巻付けて収納してください。
- ・タンク内に溜まった粉じんの量に合わせ、粉じんを排出処分してください。



●乾式・連動運転<電動工具と連動運転>

- ・集じん機にフィルタ、フィルタケース、カートリッジフィルタを取付けて準備してください。
(注) ポリ袋を使用する場合は、12 ページを参照ください。
- ・集じんホースなどを集じん機と接続する電動工具の集じんダクトなどに接続してください。
- ・集じん機の電源スイッチが『切』になっていることを確認した後、集じん機のアースクリップを接地し、電源プラグを電源コンセントに接続してください。
- ・電動工具の消費電力を確認した後、集じん機の電源スイッチを電動工具の消費電力に合わせ切換えます。
- ・モード切換スイッチを『連動』にしてください。
- ・電動工具のスイッチが『OFF』になっていることを確認し、電動工具のアースクリップを集じん機のアース端子に接続してください。連動コンセントに電動工具の電源プラグを接続します。
(注) 電動工具の消費電力が規定値を超える場合は、連動コンセントは使えません。電動工具の電源プラグは、集じん機とは別の電源コンセントに接続して、別々にお使いください。
- ・電動工具のスイッチを入れると同時に集じん機の運転が開始されます。
- ・電動工具のスイッチを切ると数秒遅れて集じん機の運転は停止します。

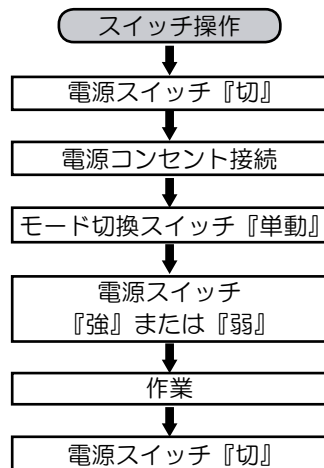


使い方

- ・作業終了後は、集じん機の電源スイッチを『切』にし、電動工具の電源プラグを集じん機の連動コンセントから抜いてください。
- ・電源コードは、邪魔にならないように本体に巻付けて収納してください。
- ・タンク内に溜まった粉じんの量に合わせ、粉じんを排出処分してください。

●湿式・単独運転<集じん機のための運転>

- ・集じん機にフィルタ、フィルタケースを取付けて準備してください。
(注) 湿式運転のときは、カートリッジフィルタを外してください。
(注) ポリ袋を使用する場合は、12 ページを参照ください。
- ・乾式運転で吸込んだ粉じんは必ず排出してから湿式運転を行なってください。
- ・ホース、延長管、床ブラシを接続した後に、集じん機の電源スイッチが『切』になっていることを確認してください。
- ・電源プラグから出ているアースクリップを接地し、電源プラグを電源コンセントに接続してください。
- ・モード切換スイッチが『単動』になっていることを確認してください。
- ・床ブラシが水面（液体）に接している状態で、集じん機の電源スイッチを『強』または『弱』にし、運転を開始してください。



- ・ 一定量吸込むと、内部のフロートが働いて吸込みを停止します。

停止を確認したら、ただちに電源スイッチを『切』にし、集じん機の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

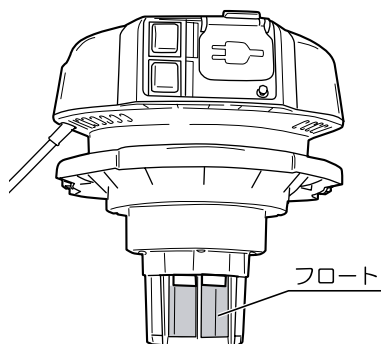
- ・ タンク内部の液体をこぼさないよう、排出してください。（32 ページ「●粉じん、液体の捨て方」参照）

- ・ 一通りの作業を終えましたら、電源スイッチを『切』にし、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

- ・ 電源コードは、邪魔にならないように本体に巻付けて収納してください。

- ・ タンク内に溜まった液体を排出した後は、フィルタを取出し、タンク内とフィルタを乾燥させてください。

（注） 本体の移動や傾きにより、ホース取付口などから吸込んだ液がこぼれたり、電源スイッチを切ったときにホースや延長管などに残った液が垂れて、周囲を汚すことがあります。本体の置き場所や電源スイッチを切ったときには十分注意してください。



フロート機構について

警告

- ・ フロート機構が作動したままで、運転を続けしないでください。
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター焼損など故障の原因になります。
- ・ 洗剤など発泡性の液体や泡を吸込ませないでください。
フロートが作動する前に空気の出口から泡がふき出します。
そのまま使用すると、感電や故障の原因になります。

本機には、一定量以上の水を吸込んだ場合に、モーター内に水が入るのを防ぐフロート機構が付いています。

フロート機構が作動すると、水を吸込まなくなります。そのときは、速やかにスイッチを切り、タンク内の水を捨ててください。

使い方

●フィルタの清掃

⚠ 警告

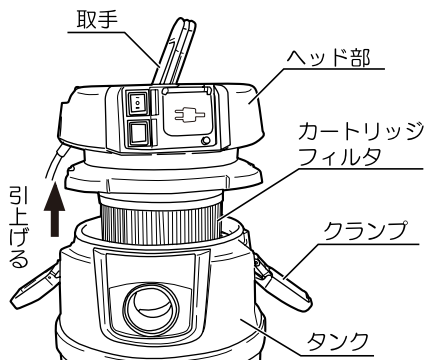
- ・必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護めがねを使用してください。

⚠ 注意

- ・タンク内の粉じんが満杯になっていると吸込み力が低下しますので、タンク高さの半分程度を目安に、粉じんは早めに捨ててください。

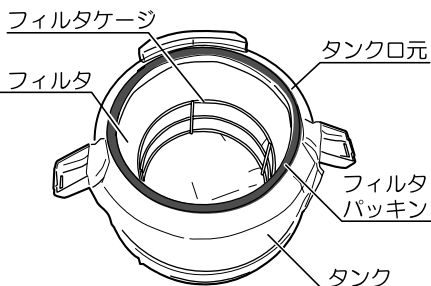
使用中に吸引力が低下した場合、下記の手順でフィルタに溜まった粉じんを取除いてください。

1. タンクとヘッド部を固定している2カ所のクランプをはずして、取手を持ってヘッド部を引上げ、取外します。



2. タンク内のフィルタケースを取出します。

3. フィルタがタンク内に組込まれた状態で、フィルタの内側面を数回たたくて付着した粉じんを落とします。
ヘッド部のカートリッジフィルタは、表面を軽くたたいて付着した粉じんを落とします。
吸引力が回復します。



4. タンクにフィルタケース、ヘッド部を戻し、クランプで固定してください。

(注) 粉じんをはたくときは、ホコリが周囲の迷惑にならないところで行ってください。
強くフィルタをはたくと、フィルタ損傷の原因になります。

●粉じん、液体の捨て方

⚠ 警 告

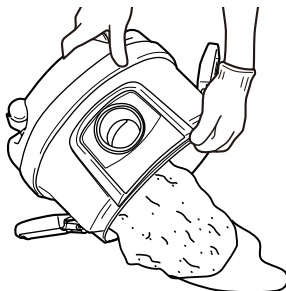
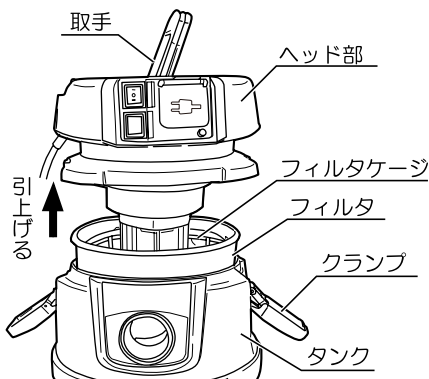
- ・必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・タンク内に液体が入ったまま機体を横倒しにしないでください。
ヘッド部（モーター部）、スイッチ部に液体が入り、感電やモーター故障の原因になります。

⚠ 注 意

- ・タンクに強い衝撃を与えないでください。変形、破損の原因になります。
- ・粉じんの吸込量にもよりますが、タンク内の粉じんは毎日1回以上捨て、機体、フィルタなどを常に清潔に保ってください。
吸引力の低下やモーターの故障、悪臭発生や錆の原因になります。
- ・タンク内の粉じんを捨てるときは、クランプを持たないでください。クランプが破損する原因になります。
- ・粉じん、液体を溜めすぎるとフィルタを取出す際、破れる恐れがあります。粉じん、液体はこまめに捨ててください。フィルタが破れた場合は新品と交換してください。

（湿式の場合）

1. タンクとヘッド部を固定している2カ所のクランプをはずして、取手を持ってヘッド部を引上げ、取外します。
2. フィルタがタンク内に組込まれた状態で、フィルタの内側面を数回たたいて付着した粉じんを落とします。
3. タンクからフィルタケースとフィルタを取出します。
4. タンクを倒して液体を捨てます。
5. フィルタ、フィルタケース、ヘッド部、クランプをもとの位置に取付けます。



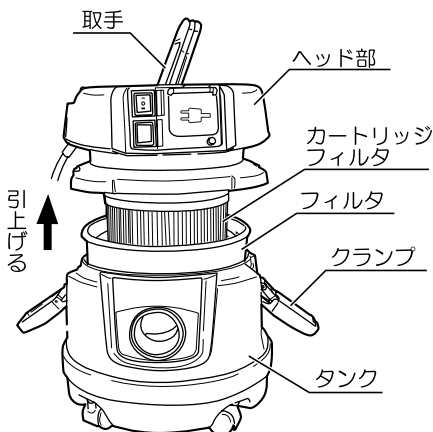
（ポリ袋使用の場合）

- タンクより液体の溜まったポリ袋を取出して捨ててください。取出す際には、タンク内の突起部に引っ掛けないように取出してください。ポリ袋が破れる恐れがあります。

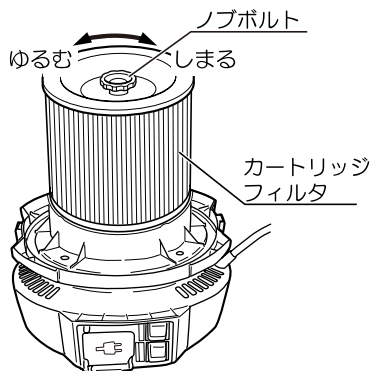
使い方

(乾式の場合)

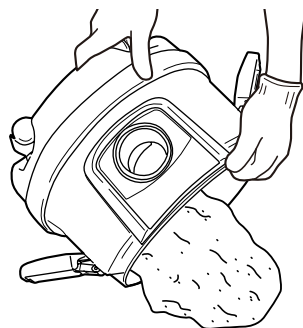
1. タンクとヘッド部を固定している2カ所のクランプをはずして、取手を持ってヘッド部を引上げ、取外します。
2. フィルタがタンク内に組込まれた状態で、フィルタの内側面を数回たたいて付着した粉じんを落とします。
3. タンクからフィルタケースとフィルタを取出します。



4. ヘッド部を下にして、ノブボルトをゆるめて、カートリッジフィルタを抜取ります。タンクの上でカートリッジフィルタの表面を軽くたたいて付着した粉じんを落とします。



5. タンクを倒して粉じんを捨てます。
6. カートリッジフィルタ、ノブボルト、フィルタ、フィルタケース、ヘッド部、クランプをもとの位置に取付けます。



(注) 粉じんをはたくときは、ホコリが周囲の迷惑にならないところで行なってください。強くフィルタをはたくと、フィルタ損傷の原因になります。

(ポリ袋使用の場合)

タンクより粉じんの溜まったポリ袋を取出して捨ててください。取出す際には、タンク内の突起部に引っ掛けないように取出してください。ポリ袋が破れる恐れがあります。

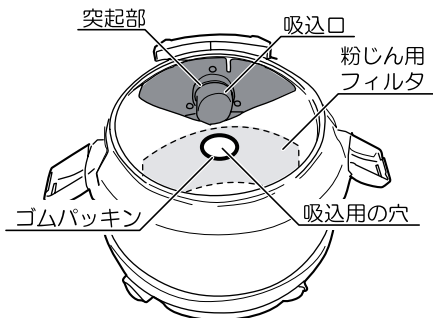
別販売品について

●粉じん用フィルタの取付け

⚠ 警告

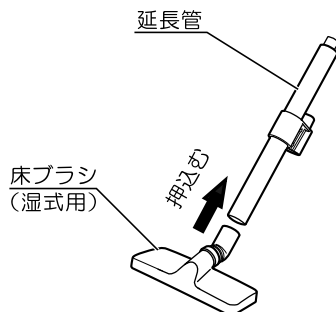
・粉じん用フィルタを取付けるときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントより抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

- ・粉じん用フィルタの吸込用の穴をタンク内の吸込口に合わせ、粉じん用フィルタのパッキンが吸込口にある抜止用の突起部より奥側になるように、しっかりさし込んでください。
- ・粉じん用フィルタに溜まった粉じんは、ファスナーを開いて捨ててください。



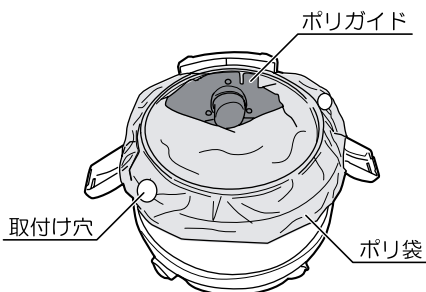
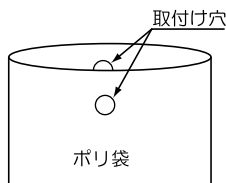
●床ブラシ（湿式用）の取付け

- ・床などの平らな面の水分の吸込みに使用してください。
- ・延長管に取付けてある床ブラシを取外し、湿式用の床ブラシと交換してください。



●ポリ袋の取付け

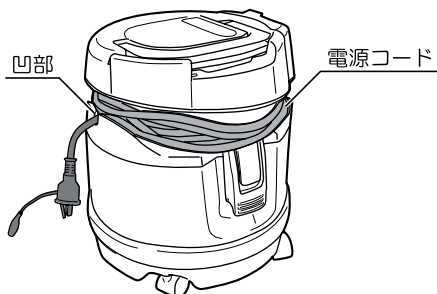
- ・別販売品のポリ袋には取付け穴があります。（他モデルで使用）
- ポリ袋の取付けは、付属品のポリ袋と同じ要領で取付け、取付け穴がタンクの外側に出るようにしてください。



収納方法

●電源コードの収納

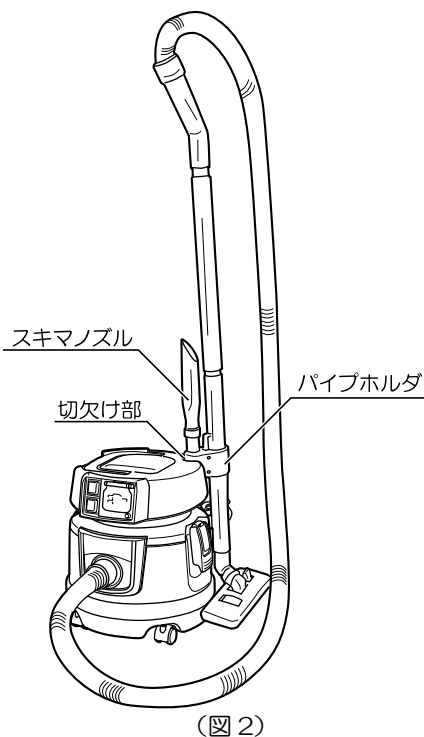
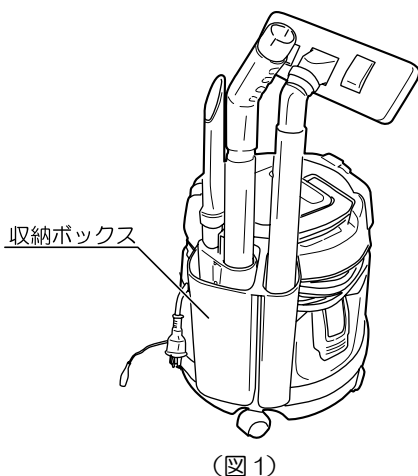
- ・ヘッド部とタンク間に電源コードを巻付けて収納できます。タンク後部にはコード引掛用の凹部がありますのでコード先端をさし込んでください。



●延長管、ノズルの収納

(注) パイプホルダに取付けた状態のノズル、延長管などに過度の力を加えないようにしてください。パイプホルダの破損の原因になります。

- ・付属品の収納ボックスをヘッド部に取付け、延長管、ノズルをさし込んで収納することができます。(図1)
- ・パイプホルダにスキマノズルをさし込んで収納ができます。(図1)
- ・お掃除を途中で中断するときに、ヘッド部の切欠け部にパイプホルダをさし込んで延長管を立てらせることができます。(図2)



保守と点検

警 告

- ・保守、点検、部品交換などお手入れの際には、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電事故の原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- ・使用後は、内部に溜まった粉じんなどを取除いてください。
また、フィルタなどに付いたホコリなども取除いてください。
- ・乾式で集じんを重ねると、カートリッジフィルタが目詰まりを起こし、集じん力が弱くなります。時々、カートリッジフィルタに溜まった粉じんを取除いてください。
- ・集じん力が弱いと感じたら、カートリッジフィルタを取出し、屋外など粉じんの影響の無いところでカートリッジフィルタを持ち、軽く左右に振るなど、はたいてください。
(注) 粉じんをはたくと、ホコリが周囲の迷惑にならないところで行なってください。
風向きを考えてください。
強くフィルタをはたくと、フィルタ損傷の原因になります。
カートリッジフィルタは水洗いしないでください。
- ・ホースや延長管、床ブラシなどは、いつも清潔にしておいてください。
ホースや延長管、床ブラシなどを水で洗った後は、よく乾かしてください。
- ・ヘッド部、タンクなどは、乾いた布などで汚れを拭き取り、いつも清潔に保ってください。
- ・ヘッド部には水を掛けしないでください。乾湿両用タイプでも防水構造ではありません。
- ・揮発性の溶剤やガソリン、シンナーなどで洗ったり、拭いたりしないでください。

●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。
お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところは避けてください。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

— NOTE —

— NOTE —

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141

<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>